

# カトリック 新潟教区報

第227号

カトリック新潟教区

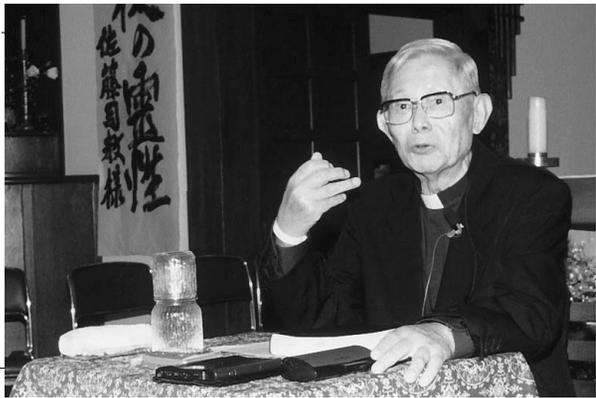
編集発行人 教区報編集部

〒951-8106 新潟市東大加通1-656

TEL 025-222-7457

FAX 025-222-7467

2003(平成15)年11月30日発行



イエスの愛を語り、信仰の向上を勧める佐藤司教

## 6年ぶり5地区合同 教区大会開く

10月12、13日の2日間、新潟カテドラル（新潟市）で第15回新潟教区信徒大会が開かれた。約300人の参加者は、大会初日の佐藤敬一司教の基調講話「信徒の霊性」（大会テーマ）に熱心に耳を傾け、生活の中で信仰をどう生きるかを考察した。

## 司教が霊性の講話

### 5氏の信仰告白に感銘

続いて秋田教会所属の井上悦子さん、青山教会所属の加藤元紀さん、山形教会所属の沼沢敬志さん、直江津教会所属の町屋英雄さん、新発田教会所属の森田国昭さんの五人が決意表明に立ち、自らの日々の証しと、信仰に生きるありようを話し、参加者の感動を誘った。

夕べのミサは鶴岡教会の本間研二師が司式し、秋田教会の口

### 大会ミサ献金

### 6福祉施設へ

- を送った。
- 「生活の場で、働きの場で信仰を生きる」ことを実践することが、福音宣教の第一歩であると確認して閉会した。
- 山形のみこころの園（老人福祉施設）
  - 秋田の聖園天使園（児童養護施設）
  - 新潟の聖園天使園（児童養護施設）
  - フランシスコ第三会 新潟県高田のさくら聖母の園（老人福祉施設）
  - 新潟県高田のみこころ荘（母子生活支援施設）
  - 新潟カリタス会 新潟県見附の聖母乳児院（乳児養護施設）
  - 新潟県見附の聖母愛児園（児童養護施設）

### 佐藤司教の基調講話から

みなさんこんにちは。早速テーマに入らせていただきます。

「信徒の霊性」と言っても、決して難かしく考えないでください。霊性の土台はたった一つです。神様は私たちが喜んで洗礼を受け、神様のいのちをくださったのです。そして私たちがおかれているそれぞれの環境の中で、イエズス様のように生きるようにとお望みになっておられるのです。

それに応えて私たちは生活の場、働きの場で、イエズス様の教えに従うように努めていかなければなりません。そのとき神様は私たちの中に自分自身のいのちをもっと豊かに注ぎ込んでくださるでしょう。

神様はご望みをイエズス様を通して私たちに教えられました。

## 霊性の土台は唯一

### 神の命によって生きよう

た。イエズス様の働きやみことばの中に、お話しの中に神様の姿が現れているのです。私たちがはこのイエズス様のみことばを思い出さなければなりません。イエズス様の生き方というのは当時のユダヤ人にとっては考へてもいかなかったことです。

「洗礼者ヨハネは罪人を集めて回心するように説教したが、イエズス様は罪人と呼ばれて差別された人々の中に入り込んで行かれた」という言葉を讀んだことがあります。

当時のユダヤ人社会は極端な階級社会で、底辺には罪人とさげすんで呼ばれて差別された人々がいて、この人たちはこの階級から抜け出すことはほとんど不可能でした。イエズス様はご

自分からこの人たちの中に入り込んでいかれたのです。しかもイエズス様が教えられた連帯というのは、仲間意識のことではなく、すべての人を迎へ入れる連帯なのです。ここに基礎をおかなければキリスト教の連帯はおかしなものになってしまうのです。イエズス様は彼らの中になぜ入り込もうとなさったのでしょうか。

この姿勢が、差別された人々の中に入り込んで行かれた人々に対する抑えきれない憐れみの心であったのです。さげすまれ差別された人々の惨めな気持ち、神様からも捨てられたのだという切ない思いを、何とかしてやらなければならなかったのです。イエズス様

は、気の毒な彼らを放っておくことができなかったのです。私たちは、イエズス様に倣って憐れみの心を持つ人にならなければなりません。

イエズス様は罪人とさげすまれた人々を普通の人々と同じように扱われました。何の償いも命じられませんでした。イエズス様は神様が罪人の負い目をすべて赦し、受け入れておられることを信じておられたのです。

イエズス様の別されていた人々の信仰を呼び起こし、この信仰が差別される惨めさや、救われたいという絶望から解放したのでした。イエズス様は言われます。「あなたの信仰があなたを救った」（ルカ福音書七章の五〇）

イエズス様が喜びの人で、その喜びが伝わっていったことも

間違いありません。差別されていた人々は、イエズス様との楽しい交わりの中で癒され、立ち直ったのです。

愛のイエズス様がそこにおられることによって、人々は解放されていったのです。これこそ、イエズス様の宣教の根っこにあるものでした。

私たちの霊性の根本もここにあり、私たちがイエズス様のこころという姿を思い出して、憐れみの心を持つように努力していただきたい。

イエズス様は私たちに貧しい人、苦しんでいる人の中にご自分の姿を見て欲しいのです。地域社会の中で、ご自分の生活の場で接する人達に対して憐れみの心を持つ人になるように努力していただきたい。

皆さんがイエズス様に倣ってイエズス様のように生きることによって、教会は変わっていくでしょう。



